

ナシ黒星病に対する「梨病害防除ナビゲーションシステム」(ナシナビ)の適合性

福島県農業総合センター 果樹研究所病害虫科

1 部門名

果樹－ナシ－病害虫防除

2 担当者

柳沼久美子・佐野真知子・三瓶尚子・藤田剛輝

3 要旨

千葉県で開発された「梨病害防除ナビゲーションシステム」(以下、ナシナビ)(図1)のナシ黒星病の本県での適合性について検討したところ、黒星病の発生がシステム上の予測発病日以降に増加している一方、システム上の感染好適日が薬剤の残効期間内に含まれる場合は発病が抑えられていることから、本県でも実用性があると判断された。

試験区は、ナシナビによる散布間隔(薬剤残効期間終了後、雨前に予防散布を行う。降雨が無い場合は間隔を空ける)、慣行区は通常の定期散布、無散布区は落花直後まで防除を実施し、以後殺菌剤無散布として試験を行った。

(1) 平成24年の調査では、ナシナビによる予測発病日以後(6/20感染→7/5発病、7/2~8感染→7/17~23発病、7/23感染→8/8発病)の調査において、無散布区で発病の増加がみられた(図2)。

(2) 試験区および慣行区は、感染好適日が全て薬剤の残効期間内であった。無散布区と比較して発病が少なく、試験区と慣行区は同程度の防除効果が認められた(図2、表1)。

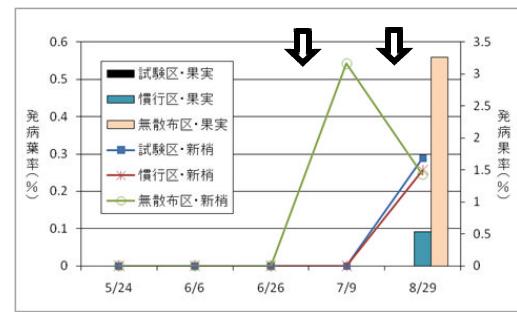
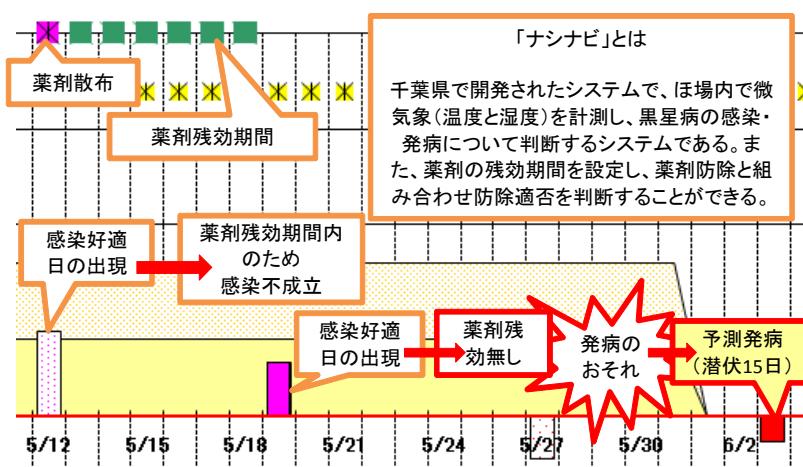


図2 黒星病発生状況と発病予測(H24)
※矢印は無散布区の発病予測を示す

図1 梨病害防除ナビゲーションシステム(ナシナビ)モデル図

表1 ナシナビによる感染好適条件の出現状況と黒星病の発生状況

調査年度	区	試験期間	感染好適日出現数	うち薬剤残効期間外日数	試験期間中の殺菌剤散布回数	収穫前黒星病調査結果
						発病葉率(%) 発病果率(%)
H22	試験区		0	9	0	0 0
	慣行区	7/1~8/14	11	1	9	0 0
	無散布区		11	0	2.1	0.9
H23	試験区		0	12	0	1.9
	慣行区	4/19~7/31	6	2	13	0 1.2
	無散布区		5	3	0.4	18.5
H24	試験区		0	9	0.3	0
	慣行区	3/30~8/31	8	0	11	0.3 0.5
	無散布区		5	3	0.2	3.3

※H22は6/4まで通常防除を実施

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成22年度～24年度
- (2) 研究課題名 ナシ黒星病の防除適否の判断指標の策定
- (3) 参考となる成果の区分 (指導参考)

5 主な参考文献・資料

- (1) 平成22年度～24年度センター試験成績概要
- (2) 平成22年度～23年度適期防除実施判断指標策定事業調査報告書